

キイロヤマトンボ

Macromia daimoji

兵庫県：Aランク

環境省：準絶滅危惧

種の概要

体長71～82mm程度。胸部は金属光沢をもつ緑色と黄色の条線有し、腹部には黄色の斑紋を有する。砂地が多く緩やかな流れの河川中流に生息し、幼虫は砂地に浅く潜っている。成虫は5月～8月に見られる。



写真提供：新村捷介

国内分布

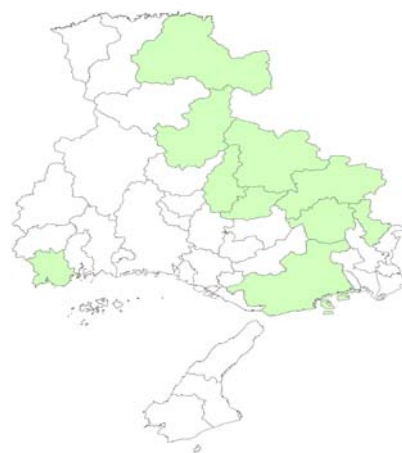
本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、三田市、猪名川町、西脇市、多可町、赤穂市、豊岡市、朝来市、篠山市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○



特記事項

県内の5河川で生息が確認されていたが、近年の洪水で多くが流され、一時的な個体数の減少が続いており、今後どの程度復活するか不明である。

保護上の留意点